

資料館の活動について

日光市歴史民俗資料館は、市内に残る歴史民俗や自然科学に関する資料を収集・保存して後世に伝えるとともに、その保護・活用を図って市民の歴史や生活文化に関する知識と理解を手助けすることを目的として、昭和 57 年 7 月に開館した施設です。

ここでは資料館の主な活動をご紹介しますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

1.収集・保存活動

この地域に関連のある考古（土器・石器類）、歴史（古文書・石造物類）、民俗（民具・農具・日常生活用具類、芸能・伝承等）、自然（植物・昆虫類）などの資料を豊富に収集し、その価値を正しく理解して後世に伝えていくという最も基本的な活動です。これらの資料は生活環境などの変化により近年急速に失われつつありますが、ひとつでも多く残していきたいものです。

皆さんの身の回りに日光市（地域）に関連するこれらの資料（特に民具・古文書類）が残っているようでしたら、ぜひ資料館にご連絡ください。

2.調査・研究活動

市民や歴史・自然研究グループなどの協力をいただきながら、文書や石造物など歴史資料の所在確認、民俗芸能など無形資料の記録化、植物・昆虫類の分布確認調査など、地域の現状を把握して集約するための諸活動です。

3.公開・教育活動

調査・研究の成果を公開し、市民が歴史や生活文化に関する知識を共有できるようにするための諸活動です。

(1) 展示活動

日光杉並木や二宮尊徳に関する資料を中心とする常設展示と、歴史や自然に関するテーマを決めた企画展示を実施し公開しています。

(2) 出版活動

資料館の活動のなかで明らかとなった事柄をまとめて書籍等を作成することによって市民共有の知識とします。

なお、資料館で販売している図書については、「[書籍の販売](#)」をご覧ください

(3) 見学会・講演会等

歴史・自然研究グループなどと協力しながら、史跡見学会や自然観察会、各種講座・講演会などを開催しています。

(4) 学校・市民への教育・普及

学校授業の一環として施設見学や総合学習等に対応しているほか、来館者に対して展示資料や関連事項の解説や相談に応じています。また、出前講座等の出張講座も実施しています。